

もも・ネクタリン特報

生育は落花時点で昨年よりも5～7日程度進んでおります。生育の早まる年は小玉傾向になりやすいため、摘果等が遅れないよう段取り良く管理をすすめましょう。また、せん孔細菌病多発地域を中心に春型枝病斑が確認される時期です。梅雨明けまでが重要防除時期となりますので、散布間隔10日以内の予防散布を徹底し、併せて春型枝病斑の除去も徹底しましょう。（詳細は、もも・ネクタリン特報 号外をご覧ください。）

もも・ネクタリン共通

せん孔細菌病の発生が心配される園地では、通常展着剤に代えて固着性展着剤 KK ステッカーの3,000倍を使用する。

*KK ステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に加用する。*KK ステッカーに代えて、アピオン E の1,000倍でもよい。

もも

2回分の防除を掲載しています

⇒他作物へ飛散しないよう十分注意する。モモとネクタリンの混植園ではネクタリン防除を実施する。
(せん孔細菌病対策として散布間隔10日以内を厳守する)

第4回 定期防除

散布時期：前回散布から10日以内（5月3日～9日頃）

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	10ml	
アプロードフロアブル	100ml	(14日前、3回)
ストロビードライフロアブル	50g	(前日、3回)
モスピラン顆粒水溶剤	25g	(前日、3回)
アグリマイシン-100	66g	(60日前、2回)

散布日	5月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、うどんこ病、モモハモグリガ、アブラムシ類、シンクイムシ類、カイガラムシ類

10a 当り散布量： 400ℓ

【注意事項】★★ 重要 ★★

①アグリマイシン-100に代えて、アグレプト水和剤・ストマイ液剤20の1,000倍(60日前、2回)でもよい。

*アグリマイシン、アグレプト水和剤、ストマイ液剤の使用回数は合計で2回までとする。

*アグリマイシン等は、収穫60日前までの登録のため、極早生種(たまき、赤宝等)には散布しない。

②うどんこ病の発生が心配されない場合は、ストロビーDFに代えて、トレノックスフロアブルの500倍(7日前、5回)でもよい。

第5回 定期防除

散布時期：第4回散布から10日以内（5月13日～19日頃）

散布薬剤： 水	100ℓ	
展着剤	10ml	
ハチハチフロアブル	50ml	(前日、2回)
フルーツセイバー	50ml	(前日、3回)
マイコシールド	66g	(21日前、5回)

散布日	5月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、(うどんこ病)、モモハモグリガ、アブラムシ類

10a 当り散布量： 500ℓ

【注意事項】★★ 重要 ★★

①カイガラムシ類の発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、コルト顆粒水和剤2,000倍(前日、3回)を使用する。

②カメムシ類の発生園は、ハチハチフロアブルに代えて、マブリックEWの2,000倍(21日前、2回)を使用する。

③フルーツセイバーに代えて、トレノックスフロアブルの500倍(7日前、5回)でもよい。

裏面にはネクタリンの防除が掲載されております。必ずご覧ください

第4回 定期防除

散布時期：前回散布から10日以内（5月3日～9日頃）

散布薬剤： 水	100%	
展着剤	10ml	
アプロードフロアブル	100ml	（7日前、3回）
モスピラン顆粒水溶剤	25g	（3日前、3回）
マイコシールド	66g	（28日前、5回）

散布日	5月	日
散布量		%

対象病害虫：せん孔細菌病、モモハモグリガ、アブラムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類、カイガラムシ類

10a 当り散布量： 400%

【注意事項】★★ 重要★★

- ①降雨が多く、黒星病の発生が心配される場合は、トレノックスフロアブルの500倍（30日前、5回）を加用する。
- ②もも混植園で、うどんこ病の発生が心配される場合は、ストロビーDFの2000倍（前、3回）を加用する。

第5回 定期防除

散布時期：第4回散布から10日以内（5月13日～19日頃）

散布薬剤： 水	100%	
展着剤	10ml	
ハチハチフロアブル	50ml	（前日、2回）
トレノックスフロアブル	200ml	（30日前、5回）
マイコシールド	66g	（28日前、5回）

散布日	5月	日
散布量		%

対象病害虫：せん孔細菌病、黒星病、灰星病、（うどんこ病）、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類

10a 当り散布量： 500%

【注意事項】★★ 重要★★

- ①もも混植園で、うどんこ病の発生が心配される場合は、トレノックスFに代えてフルーツセイバー2000倍（前日、3回）を使用する。
- ②カイガラムシ類の発生園は、ハチハチフロアブルに代えてコルト顆粒水和剤の2000倍（前日、3回）を使用する。

◎落花期以降の追肥・葉面散布について

例年、落花後の樹勢衰弱や葉色の薄い園地が散見されます。追肥・葉面散布を実施し、健全な葉の育成と光合成、初期肥大促進に努めましょう。

***追肥の場合**

資材名	保証成分量	10a 施用量	使用時期	規格	1袋 単価
アミノシャープ085	N-10%、P-8%、K-5%、Mg-2%	1～2袋	5月中～下旬	20kg	2,897円
プレシャス有機	N-7%、P-3%、K-1%	1～2袋	5月中～下旬	20kg	3,223円

***葉面散布の場合・・・定期散布時に農薬と混用散布が可能です。**

資材名	保証成分量	目的	倍率	使用時期	規格	1000 散布 単価
ようゆう 葉友	N-5%、P-0.1%、K-0.3%	光合成促進	2,000倍	今回定期散布～3回	10	201円
					40	193円
ビビッドグリーン	N-7%、P-6%、K-4%、Mg-1%	葉色、健全葉維持	500倍	今回定期散布～3回	1.2kg	233円
液体硫酸マンガ	水溶性マンガ 13.5%	マンガ欠乏対策	200倍	落花30日後 落花40日後の2回	1kg	511円
グリーンデイズ	Mg-16%、Mn-9%、B-2.5%	苦土欠乏対策 微量要素補給	1,000倍	今回定期散布～3回	1kg	149円

*N-窒素、P-リン酸、K-カリ、Mg-苦土、Mn-マンガ、B-ホウ素